



森美保 &lt;mori0039@gmail.com&gt;

## MIRU MORNING EXPRESS現地2月15日 (<https://www.iru-miru.com/>) ドル高で反落もAL、Ni、Cu堅調

miru webmaster &lt;webmaster@iru-miru.com&gt;

2017年2月16日 5:00

To: info@iruniv.net

Cc: info@iruniv.net

ドル高で反落もAL、Ni、Cu堅調

15日のLME市場は前半ドル高で圧されるも、需給要因がある銅、ニッケル、アルミは底堅く推移。銅3Mは前日比120ドルdownの6,036ドル、後場6,050ドル。チリのエスコンディダ、インドネシアのグラスベルグと世界2大銅鉱山の操業停止状態で強含み地合いを続けているが、15日にエスコンディダの労働者と会社（BHP）とは再交渉することで合意した、との報で緊張緩和。

アルミ新地金3Mは前日比16.5ドルdownの1884.5ドル、後場1913ドルまで反発し年初来高値を更新。3営業日連続。中国政府が今年内に環境対策上、アルミ新地金生産の30%をカットすることを発表。具体的には冬季（11月15日～3月15日）の4か月間はアルミ、アルミナ、カーボンの生産が制限されることとなり、新地金の生産能力にして1,100万トンを超える見通し。重点環境監視地区は北京、天津、河北、山東、山西、河南の各省。山東省と河南省にアルミ生産は多い。河北は鉛亜鉛製錬所が多く、やはり規制対象。場合によっては河北の鉛製錬所の多くが大幅な減産を求められることもある。

ニッケルは85ドルdownの10,790ドル、後場で10,850ドル

フィリピン政府の強引な鉱山閉鎖報によってフィリピンのニッケル供給の50%が止められる可能性も指摘されている。一方でニッケルの副産物であるコバルトは爆騰中で早くもポンド19ドルまで上昇（低品位、高品位とも）コバルトは2010年10月以来、6年5か月ぶりの高値。コバルトとニッケルのスプレッドは過去最大級まで広がる。現在はポンド当たり14.5ドルまで拡大。過去5年間のスプレッド平均はポンド7.36ドルだった。

一種の親不孝（親孝行？）相場で、ニッケル低調を子のコバルトが助けている。

スズは150ドル高の20,000ドル、亜鉛37ドルdownの2897ドル、鉛67.5ドルdownの2352ドル

12月のユーロ圏貿易黒字は281億ユーロ、予想の228億ユーロを上回る。

1月の米小売売上高は前月比0.4%増加、予想の0.1%増を上回る。自動車除く売上高は0.8%増、予想の0.4%増を上回った。

1月の米消費者物価指数は前月比0.6%上昇、予想の0.3%上昇を上回る。

2月のNY州製造業景気指数は18.7に上昇、予想の7.0を上回る。

1月の米鉱工業生産指数は0.3%低下、予想と変わらず

3月のオランダ下院選、反ユーロ、反移民、反イスラムの自由党に勢い。

15日の日経平均株価は前日比199円高の1万9437.98円

15日のNYダウは続伸で前日比100ドル高の2万603ドル（速報値）。金融株高い。GSが上場来高値更新。法人税率が大幅に引き下げられるとの思惑から買い入る。

\*\*\*\*\*

IRUNIVERSE/MIRU.com

<https://www.iru-miru.com/>

---



**miru\_express2017Q1.pdf**

113K

**London Metal Exchange Basemetal Price**

MIRU.com

現地 2017年2月15日 2月16日入電

為替TTS米ドル2月15日 115.50円

USD/MT	CASH			3month			在庫(t)	前日比
	前場	後場	前日比	前場	後場	前日比		
アルミ新地金	1,871.0	1,900.0	-22.0	1,884.5	1,913.0	-16.5	2,212,000	-8,775
アルミ合金	1,650.0	1,648.0	5.0	1,660.0	1,660.0	0.0	12,860	0
銅	6,016.0	6,030.0	-129.0	6,036.0	6,050.0	-120.0	235,825	-7525
鉛	2,338.0	2,322.5	-77.0	2,352.0	2,336.0	-67.5	189,150	-25
ニッケル	10,710.0	10,795.0	-115.0	10,790.0	10,850.0	-85.0	380,610	-936
錫	19,955.0	20,070.0	130.0	20,000.0	20,100.0	150.0	5,930	50
亜鉛	2,890.0	2,884.0	-44.0	2,897.0	2,884.0	-37.0	395,725	14425
モリブデン	15,250.0		0.0	15,250.0		0.0	12	
コバルト	43,250.0		500.0	43,000.0		250.0	677	39

**Raremetal&Felloalloy&RareEarth**

	アンチモン	コバルト	インジウム	酸化モリブデン	フェロタングスタ	フェロクロム	フェロチタン	フェロバナジウム
	99.65% \$/MT	99.3 (\$/lb)	99.9% \$/k	(\$/lb)	(\$/kg)	(¢/lb)	US\$/kg	US\$/kg USA
high (高値)	↑ 7900	↑ 18.1	200	7.60	25.0	144.0	2.80	27.0
low (安値)	↑ 7700	↑ 17.8	190	7.40	22.0	139.0	2.70	25.0
↑上げ乃至は上げ含み	FeMn (HC)	シリコマンガ	フェロシリコン	メタルマンガ	ジスプロシウム	ネオジム	セリウム	ランタン
↓下げ乃至は下げ含み	china \$/MT	China (\$/MT)	China (\$/MT)	China (\$/MT)	Metal (\$/kg)	Metal (\$/kg)	Oxide (\$/kg)	Oxide (\$/kg)
high (高値)	1,350	↓ 1065	1060.0	2,000	265	49.0	1.75	2.25
low (安値)	1,290	↓ 1055	1040.0	1,980	255	48.0	1.65	2.10

**NY・COMEX/NYMEX**

NY・COMEX/NYMEX						SHFE(上海先物市場)		
NY銅	金	銀	パラジウム	プラチナ	ロジウム	アルミ新地金	鉛	ニッケル
(\$/lb)	(\$/troyoz)	(\$/troyoz)	(\$/troyoz)	(\$/troyoz)	(\$/troyoz)	2,074	2,807	12,809
2,7360	1231.70	17.947	786.25	1007.80	860.00	-1	-62	-13
0.0050	7.80	0.0750	5.30	7.70	15.00	178,904	49,473	89,005

在庫(t) 108,468

1月の米小売売上高は前月比0.4%増加、予想の0.1%増を上回る。自  
除く売上高は0.8%増、予想の0.4%増を上回った。

1月の米消費者物価指数は前月比0.6%上昇、予想の0.3%上昇を上

2月のNY州製造業景気指数は18.7に上昇、予想の7.0を上回る。

1月の米鉱工業生産指数は0.3%低下、予想と変わらず

3月のオランダ下院選、反ユーロ、反移民、反イスラムの自由党に

15日の日経平均株価は前日比199円高の1万9437.98円

15日のNYダウは続伸で前日比100ドル高の2万603ドル(速報値)。( 豪州62%Fe

株高い。GSが上場来高値更新。法人税率が大幅に引き下げられるとの

思惑から買い入る。

\*本レポートはIRuniverse社により、情報提供を目的に作成されたものです。本レポートは信頼できる公開情報に基づき作成されておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本レポートは弊社の見解に基づき作成されたものです。本レポートの無断複製、転送、引用はご遠慮ください。弊社の都合により本レポートの一部または全部を予告なしに変更することがあります。

NY原油	錫	亜鉛	銅
(\$/Barrel)			
20,960	2,854	191,026	7,030
53.10	-21	-41	-201
-0.10			277,659

**鉄鉱石 国内地金価格(円/kg)**

(\$/ton) TSI	銅建値	亜鉛建値	鉛建値
92.00	740	382	335
-1.10	アルミNSP	錫地金	ニッケル
	268	2496	1360

金建値(円/g)	銀建値(円/kg)	プラチナ(円/g)
4,506	66,560	3,738

**ドル高で反落もAL、Ni、Cu堅調**

15日のLME市場は前半ドル高で圧されるも、需給要因がある銅、ニッケル、アルミは底堅く推移。

銅 3Mは前日比120ドルdownの6,036ドル、後場6,050ドル。チリのエスコンディダ、インドネシアのグラスベルグと世界2大銅鉱山の操業停止状態で強含み地合いを続けているが、15日にエスコンディダの労働者と会社(BHP)とは再交渉することで合意した、との報で緊張緩和。

アルミ新地金3Mは前日比16.5ドルdownの1884.5ドル、後場1913ドルまで反発し年初来高値を更新。3営業日連続。中国政府が今年内に環境対策上、アルミ新地金生産の30%をカットすることを発表。具体的には冬季(11月15日~3月15日)の4か月間はアルミ、アルミナ、

カーボンの生産が制限されることとなり、新地金の生産能力にして1,100万トンを超える見通し。重点環境監視地区は北京、天津、河北、山東、山西河南の各省。山東省と河南省にアルミ生産は多い。河北は鉛亜鉛製錬所が多く、やはり規制対象。場合によっては河北の鉛製錬所の多くが大幅な減産を求められることもある。

ニッケルは85ドルdownの10,790ドル、後場で10,850ドルフィリピン政府の強引な鉱山閉鎖報によってフィリピンのニッケル供給の50%が止められる可能性も指摘されている。一方でニッケルの副産物であるコバルトは爆騰中で早くもポンド19ドルまで上昇(低品位、高品位とも)コバルトは2010年10月以来、6年5か月ぶりの高値。

コバルトとニッケルのスプレッドは過去最大級まで広がる。現在はポンド当たり14.5ドルまで拡大。過去5年間のスプレッド平均はポンド7.36ドルだった。一種の親不孝(親孝行?)相場で、ニッケル低調を子のコバルトが助けている。

スズは150ドル高の20,000ドル、亜鉛37ドルdownの2897ドル、鉛67.5ドルdownの2352ドル

12月のユーロ圏貿易黒字は281億ユーロ、予想の228億ユーロを上回る。